**稚内中学校等基本設計業務に関する公募型プロポーザル技術提案書作成要領**

**１．業務名**

稚内中学校等基本設計業務

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 番号 | 提出書類 | 留意点 |
| １ | 技術提案書（表紙） | ・様式７ |
| ２ | 取組姿勢及び実施体制：１枚以内 | ・様式８・様式９-１、-２、-３、-４、-５、-６・Ａ３サイズ片面にまとめる・左上１ヶ所ホチキス留め・ページ番号を付す |
| ３ | 特定テーマに対する技術提案：合計６枚以内 |
| 4 | 参考見積書 | ・様式10 |

**２．提出書類**

**３．提案内容**

技術提案書において、次の事項について説明すること。

1. 取組姿勢及び実施体制（様式８）

本業務における「基本的な取り組み方針」「業務の実施体制」「業務担当者の実績等」「設計上の配慮事項（特定テーマに記載する内容を除く）」「その他の配慮事項等」について簡潔に記載し提出すること。なお、提出者を特定することができる内容の記述（具体的な社名等）は記載しないこと。

（２）特定テーマに対する技術提案（様式９-１、-２、-３、-４、-５、-６）

稚内中学校改築基本方針を踏まえ、学校改築のあり方や考え方について、下記特定テーマ別に提案すること。

ア　テーマ１「地域ぐるみで児童生徒を見守り、子どもたちの主体性を育む校舎」

地域住民が子どもたちを見守る環境ができ、子どもたちの主体性を育み、多様な学習活動ができるような校舎について提案すること。

イ　テーマ２「義務教育学校への移行を視野に入れた柔軟性」

義務教育学校への移行を視野に入れ、職員室、教室等の構造、また児童生徒及び教職員の動線について柔軟性がある中学校及び小学校について提案すること。

ウ　テーマ３「各種スポーツ大会に対応できる屋内運動場」

大規模な大会や一般競技の大会においても対応ができ、スムーズな人の動きが確保され、

効率の良い大会運営が可能な屋内運動場について提案すること。

エ　テーマ４「地域住民の避難場所としての校舎・屋内運動場」

津波等の災害時には防災拠点として機能し、地域の避難場所となる校舎・屋内運動場について提案すること。

オ　テーマ５「環境にやさしく、効率的な校舎・屋内運動場」

「環境都市わっかない」にふさわしい、環境負荷の低減を実現する校舎・屋内運動場に

ついて提案すること。

カ　テーマ６「その他独自の提案」

本業務を遂行するにあたり、独自のテーマがあれば、提案すること。

（３）参考見積書（様式10）

提案した運用体制による合計経費見積金額と消費税相当額（10％）を提示すること。また、見積金額の内訳書（任意様式）を添付すること。

**４．留意事項**

（１）稚内中学校等基本設計業務に関する公募型プロポーザル実施要領に基づく受託候補者選定のための審査に際して求めるのは、受託業務履行の具体的な方法及び取り組みのあり方についての提案であり、成果の一部の提出ではないことに留意すること。本要領において求める事項以外の内容を含む技術提案は、これを無効とする場合もある。

（２）技術提案は、一技術提案者につき一つ限りとする。

（３）技術提案書の提出後の訂正、追加、差し替え及び再提出は認めないものとする。

（４）できるだけ平易な表現を用いて、見やすくわかりやすい構成及び記載を行うこと。

（５）文書の補完のために、写真やイラスト、イメージ図等を用いることを可とするが、設計内容が具体的に表現された設計図面や模型等は認めないものとする。（「平成30年４月２日大臣官房庁営繕部　技術提案における視覚的表現の取扱いについて」によるものとする。）

（６）レイアウトや色彩の仕様は自由とする。

（７）主要な文章における文字は読みやすい大きさ(11ポイント以上)とすること。ただし、図版等に係る部分の文字についてはこの限りではない。